

# 静岡精華学園報

令和3  
2021  
秋季

発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA  
SEIKA  
GAKUENHO  
VOL.2

## 課題を解決しながら一步一步、着実に歩みます

福祉大学に向かい通勤する車窓から赤い曼珠沙華が綺麗に見えます。

浅学非才な私が理事長に就任し半年が経ちました。周りの方々に支えられ、やっとここまでこれたと思います。私は自分が6年間学んだ精華がとても気になる事、父杉原正六の生き様に好感を持った事、創始者杉原正市が先見の明があった人物だった事、杉原市蔵が戦時中もリベラルな考え方の持ち主だった事、尾崎元次郎校長先生が精華を愛してくれた方だった事など多くの方々の「本気」を感じました。

さて、幼稚園はリモートでは保育ができませんからコロナ禍の中、工夫を凝らして活動しています。未来を担う

子ども達は元気で力をもらいます。

中学のロイノートを使った授業や夏休みにはISAという会社が主催するネイティブとの少人数制の授業はとても興味があり私も「もう一度学び直したい」と思ったほどです。

高校生は進路をかなえようと暑期中、猛勉強をしていました。中高一貫教育が大きなテーマです。

大学はコロナ禍でも実習は欠かせませんからワクチンを早めに打ってそれぞれの実習に出かけていきました。先生方のご苦労は大変だったと思います。

まだまだ先は長いですが、一步一步前進していきます。(9月末記)



静岡精華学園 理事長  
杉原桂子

## 微力ながら学園の発展に汗を流します



静岡精華学園常務理事  
山城厚生

この6月より本学園の常務理事を仰せつかった山城でございます。よろしくお願い申し上げます。新理事長の杉原先生と大学の太田学長より、熱い思いを伺ったのが年度替わりの頃でした。昨年3月まで福祉大学に籍を置かせて頂き教育福祉の夢追う者として、次の3点を思いお引き受けいたしました。

1. 学園の将来に向け、現場及び職員目線で学園運営に関わることも教育現場を知る者としての責務。
2. 創立者杉原正市先生が掲げられた建学の精神『時代に即応する新しい女性の育成(※)』はいつの世でも大切な教育ロマン。

3. 第2代校長尾崎元次郎先生は、日本少年団(ボーイスカウト)の先達でした。昭和の初期に学校行事にBSプログラムのキャンプ(その時その場を生きる)を導入。

尾崎先生の見識性と実行性これも教育ロマン。お引き受けした理由としては上段に構えたものではありませんが、私の決断にとっては大なるものです。浅学非才ではありますが、精華ランナーとしてバトンを強く握り走り汗かく覚悟です。よろしくお願いいたします。

本学園があの大蘇鉄が如く永く大ならむことを願い!

※現在、学園の建学の精神は「時代に即応する新しい人材の育成」となっている。

# オンライン授業の意義と課題

静岡福祉大学 副学長 増田樹郎

「オンラインで授業を受けることができなんて思いがけないことでした。感染リスクのある電車での通学にとっても不安があったからです。これからは在宅で安心して受けることができます」。昨年4月、コロナ禍が蔓延するなかで急遽オンライン授業が始まった折の、重い内部障害のある学生の言葉です。当時は、こうした授業形式に馴れず、学生も教員もおよそ3ヶ月は試行錯誤の日々が続きました。

そもそも従前の大学の授業は、特定の場所(教室や実習場など)に集合して直接に対面して行う形式が中心でしたので、ネットワークを介してパソコンやスマートフォン等のデバイスを使って遠隔にて行う発想は、放送大学等の通信系大学を除けば、およそ一般的ではありません。「eラーニングシステム」という教育方法はかねてから大きな関心事でしたが、未だ試行の域に留まっています。コロナ禍はこれを一変させ、大学もまた〈対面〉と〈遠隔〉とのハイブリッド的な授業形式を採らざるを得なくなりました。

今夏、静岡県に緊急事態宣言が発出される事態となり、後期からはこれに備えてオンライン授業を実施することになりました。昨年の事態を省みて、すでに学内的にはオンラインに対応するハード・ソフトの準備は整えられておりましたので、あとは経験的に馴化していくのみとなります。

本来、この形式は学びをサポートするツールであり、「いつでも、どこでも、何度でも」というメリットがあります。ライブ配信のみならず、オンデマンド配信(受講者が何度でも視聴できる形態)も可能となります。ただし、〈対面〉以上に学修内容の可視化が求められる点では、情報の「品質」が問われることとなります。つまり、学修成果を双方向で検証していくことがなければ、単なる情報提供(知識伝達)になってしまいます。文科省の調査(令和3年7月)では、オンライン授業の満足度(37.9%)は不満足度(24.6%)を上回っていますが、その内実をみると、「レポート等の課題が多い」「相互のやりとりの機会が少ない」など、本来の授業



のもつダイナミズムが希薄となっている感があります。

今後は、ナレッジつまりオンライン実施上の教職員の経験や知識・スキルなどを共有して、これを大学教育の新たな付加価値としていく取組もまた不可避となっています。「情報」ということばは、その語源であるラテン語informationemでは「心(精神)に形を与える」と意味づけています。どのような授業形式であっても、心を通わせる関係性があればこそ、活きた「情報」を伝え合い、学び合うことができると言えるのではないのでしょうか。

# 子どもが行きたくなる幼稚園づくりをめざす

静岡精華幼稚園 園長 幾田光男

私たちは、静岡精華学園みらい躍進計画の究極目標を「子どもが行きたくなる幼稚園、親が行かせたくなる幼稚園づくり」と定めています。アクションプランについては、同計画を数値も含めて達成可能な具体像として設定し直すこととします。



そして、この二つを絡め、目標達成可能な対策とするために目を向けなければならないものがあります。それは子どもです。

子どもが嬉しいと親も嬉しくなります。子どもが楽しいと親も楽しくなります。子どもが満足すれば親も満足します。子どもが心安らげば親も心安らぎます。これは子を持つ親の偽らざる心理です。

そこで、静岡精華幼稚園は、子どもの充足を求めて日々の保育(教育)を構成します。全ての教師が全ての子の担任となって、全ての子どもに心の通った声を

掛け、まずは子どもが安心して身を置くことのできる空気を醸成します。そして、子どもを誘い、子どもを後押しします。幼稚園のこうした営みは今、しっかりとレールに乗っています。

多くの子どもたちが、朝、笑顔で登園します。着替えを終えると、すぐに園庭に飛び出していきます。ブランコ、鉄棒、雲梯、三輪車、お砂場、鬼ごっこ、花いちもんめ。そこへ教師も加わって大はしゃぎの空間が生まれます。子どもが行きたくなる幼稚園づくり、まさに今、着実に進行中です。

# コロナ禍における学校運営について

静岡大成中学校・高等学校 校長 山田隆司

昨年4月のコロナ感染拡大による全国一律休校が始まるとすぐに、本校ではオンライン授業の準備に入りました。ICT管理担当者の主導で、どの通信システムが良いか実験を行い、承認手続きに取りかかる一方、校内で授業配信やアプリの使い方について研修会を開き技術を習得しました。特別時間割の作成、生徒への説明等を経て、4週間後にはオンライン授業を配信することができました。短期間でここまでのが実践できたのは、教職員の機動力と団結力があればこそ



だと自負しています。当時の調査では、授業配信を実施した学校は全国で5%に留まったということでした。

今年は、夏休みに入り感染が爆発し、緊急事態宣言の中で2学期が始まりました。オンライン授業を実施する学校がメディアに取り上げられる中、本校は可能な限り通常授業にこだわりました。オンライン授業は、クラス閉鎖や学校休校となった時に実施しようと考えました。

2学期は大変重要な学期です。中学3年生は高校受験の準備が本格化、高校3年生は就職試験、推薦入試が次々に始まります。意見発表会、中学高原教室、そして昨年度は中止となって涙を飲んだ体育祭、高校修学旅行などビッグイベントも目白押しです。部活動では新人戦や選手権等大事な大会があります。学校の動き、生徒の活動を止めてはいけなく、むしろ規則正しい学校生活を送ることによって、感染リスクを減らしていくことが必要だと考えました。

そこで、校内での感染防止対策を強化しました。本校は登校時間が他校より早いため、生徒はこれまで通り登校し、集会はリモート形式で実施、昼休みには教員が教室を回り“黙食”を呼びかけました。中学生の部活動は時間を短縮し、スターライトクラスの終了時間を1時間早めました。土曜授業はカット、土・日の部活動は原則禁止とし、生徒には校外での生活も自粛を呼びかけました。

そのような中で、2学期開始時点では、夏休み中に感染、あるいは陰性ではあるが経過観察といった生徒が何人か見られたものの、その後校内感染は全く無く、3週間以内に全生徒が学校に復帰することができました。生徒一人一人の自覚のある行動と我慢、それを支えた教職員の努力など、生徒と教職員が一体となって取り組んだ結果だと思えます。今後も対面授業をできる限り継続して行い、行事も予定通り実施され、受験や大会などで良い結果が出ることを期待しています。

column  
コラム

## 幼稚園の運動会が今年も行われました

新型コロナウイルス感染症が出現してから1年と10か月。幼稚園は、さまざまな制約の中で今日まで教育活動を展開してきました。しかし、一貫しているのは前向き、建設、前進姿勢。「どうしたら可能になるだろうか」「どうしたら実現できるだろうか」です。

3歳という時は二度と帰ってはきません。4歳、5歳も同じです。一生の教育要素の中には3歳のときにこそ施すこと、4歳のときにこそ施すこと、5歳のときにこそ施すことが存在します。機を逃したら効果半減です。教育は一過性と言われる所以です。

体も大きく育つ運動会。教育効果抜群の運動会。今年もそんな季節がやってきました。本園ではすでに3か月前から実現に向けて歩みを進めています。静岡市の感染者数と重症者数の推移、病床のひっ迫具合を横目で睨みながら、入場者数の制限をすべきかどうか、入場希望者の安全性はどのようにすれば確認できるか、行動歴の提出を要請すべきかどうか、祖父母の思かんかんがくいにどう応えたらいいかなどなど侃々諤々の議論を進めてきました。また、この推移を保護者にも伝え、子どもを取り巻く保護者



家族全体の意識の覚醒も図ってきました。

その結果、昨年は「運動会、できてほんとうによかった」「うちのおばあちゃんなんか、もう見られないと思っていたと言って涙ぐんでた」「ほんと、幼稚園のおかげ」。100通を超える感謝感激のお便りが園に届きました。子どもたちに確かな育ちを提供するために、家族総ぐるみで取り組んだ運動会でした。そして今年の運動会も素敵な1日となりました。

# 特 TO KU SYUU 集

## 静岡精華学園を支える仲間たち

ステーキホルダーの声

学園を支えているのは教職員だけではなくではありません。これまで、多くの皆さんに支えられて私たちは歩んできました。118年という歴史は、そうした人々が紡いできた物語ともいえます。本号では中高の卒業生を中心に組織された桜凧会、短大と大学の同窓会、中高を見続けてきた鷹匠の町内会、そしてすでに社会に羽ばたき活躍している卒業生などの皆さんからさまざまな声を頂戴しました。

## ぽかぽかと温かな印象を受ける 中高の生徒たち

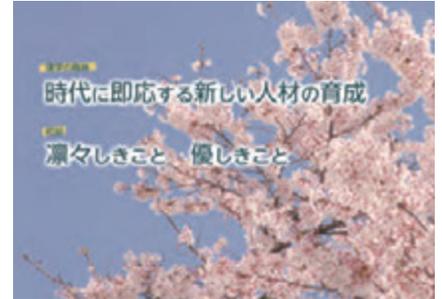
桜凧会

会長 森田さえ子

「こんにちは!」と、いつも元気に挨拶をしてくれる生徒。学校へ行くと皆が同じように声をかけてくれます。

とても爽やかな気持ちになります。初めて大成に行った時も、挨拶がしっかり出来る生徒だと感じ、先生と生徒が、会話をしている光景は、とても温かい感じがしました。PTAを通じ学校をみると、生徒一人一人に向き合い親身に接し、指導する先生方の姿を見た時に、私が初めて感じた温かさは「これだ!」と感じました。

桜凧会はPTAを卒業した方々のお力を借りて、生徒の部活動等の後援をする為、平成22年に立ち上げました。部や個



人負担では、購入が難しい高額な設備の導入や、全国レベルの大会に出場する部員の旅費交通費等の支援を行っています。今まで卒業生を中心に、同窓会の皆様の温かいご支援を頂き活動してきました。現在コロナ禍で大会が、中止、延期になっていますが、今まで積み上げてきたものを発揮できるように、温かく見守り支援できるように活動していきたいと思っています。

## 魅力のある大学の一助 になりたい

静岡福祉大学同窓会

静岡福祉大学同窓会事務局

静岡福祉大学同窓会は、短期大学から大学を経て、現在の会員数は約5千人となっております。本会は、会員相互の親



睦を図るとともに、大学との連携を緊密にし、あわせて大学の発展に寄与することを目的としております。現在、主な活動としては大学における教育活動の援助推進に関する各事業の計画及び実施で、大学行事へのサポートや大学祭への出店協力などを行っておりますが、現状はコロナ禍により行事も制限されているため難しい状況となっております。しかしながら、コロナが終息した後は、活動をより活発に行って参りたいと思います。

卒業生ひとりひとりの協力で成り立っている本会ではございますが、今後も魅力ある大学の一助となるよう同窓会一同ご協力して参りたいと思います。

## 素敵な卒業生たちをご紹介します

渡会 進 (静岡大成高校非常勤講師)

### パン屋さんの 店長Nさん

Nさんとの20数年ぶりの再会は突然でした。ある防災セミナーで「渡会先生ですよね。私、センセイに教わりました。」と声を掛けられたのです。彼女としばらく話をするうちにまずは何とも言えない懐かしさがこみ上げ、次に少女だった彼女の顔が蘇ってきました。不良ぶっていたけど、校舎の廊下でニコニコと話しかけ

てきてくれる子でした。そして、驚いたのは彼女が障がいのある人たちを雇って経営するパン屋さんの店長だったことです。そのお店には私が尊敬する方のダウン症の息子さんが働いていて「息子の才能を開花させてくれた素晴らしい店長さんがいるんだよ」と以前から聞かされていたのです。それがNさんのことでした。

私は誇らしくて仕方がありませんでした。そして何よりも嬉しかったのは彼女の息子さんが大成中学の3年生だったこと

静岡大成中学校・高等学校



です。教え子が母校に子供を入れてくれるって私学の教師にとって最高です。ちなみにNさんの当時の担任は、若かりし頃の松井史徳先生です。

### 福祉の世界で活躍する 卒業生Mさん

私の四つ年上の従姉は、重度の知的・身体障害の息子の母です。その息子さんは3年前に40歳を少し越えたところで亡くなりました。その葬儀の日、従姉から

紹介されたのがMさんでした。亡くなった息子さんを長年に渡って支えてきたのがMさんだったのです。顔を見合わせた私とMさんはポカンとしてしまいました。

「渡会先生ですよね？」

一呼吸おいて彼女が口を開き、私は

「久しぶりだね。バレー部のMさんだよね。」と答えました。

彼女は私が新米教師だった頃の生徒で、バレーボール一筋の体育会系少女でした。大学を出たばかりの私に対して、大抵の生徒が少女らしい好奇心に満ちた目で見ている中で、全く興味なしといった風情のMさんは目立つ生徒でした。だ

から40年近くが過ぎても覚えていたのでしょう。

従姉は驚いていました。Mさんは従姉にとって恩人であり、福祉施設や保育園を経営して福祉の道に人生を捧げている尊敬すべき女性でした。「凄い人なのよ。」と繰り返しました。そのMさんが従弟の私を「先生」と呼び敬語で話しているのですから。

私の従姉は、生きづらさを抱える全ての人々に手を差し伸べる活動をする行動的で意識の高い女性です。その従姉が一目も二目も置くMさんが私の教え子であることをとても誇らしく思います。



### 精華高校から 精華幼稚園へ

竹田裕紀  
(旧姓前田1995年高校卒業)

さわやかな秋晴れの季節となりました。学園報創刊号を拝読し、楽しく懐かしい思い出が蘇りました。

精華高校ではバスケット部に所属し、部活動を通してかけがえない親友と出会うことができました。また、3年時の担

任の仁田先生には卒業後も大変お世話になりました。幼児教育科のある短大へ進学したものの就職先が見つからず悩んでいた私に、仁田先生から一本の電話をいただきました。

「精華幼稚園で働いてみませんか。」晴天の霹靂とも言える仁田先生のお導きにより、精華幼稚園の教諭として充実した日々を過ごすことができました。生徒として、教諭として、精華学園の一員としていられた事は一生の宝物です。

同窓生が語る母校

現在、4歳と2歳の子供がいます。毎日の子育てでは数えきれないほどの喜びがありますが、涙することも少なくはありません。そんな時、学園報で理事長になられた仁田(杉原)先生の凛としたお姿を拝見し改めて背筋が伸びる思いがしました。

「今まで以上に一日一日を大切に過ごしていこう！」私は青い空を見上げ、そう強く思いました。



## 学園のある町「鷹匠」は学びの町 地元の町内会から

竹内礼子 (鷹匠2丁目自治会執行役員)

私は精華幼稚園の3期生です。娘も孫も精華幼稚園を卒園しました。昭和60年に精華幼稚園創立30周年の式典が華やかに催され、初代園長の後藤先生をはじめ、子供ながらになんて美しいんだろうとあこがれた当時の先生方が、変わらぬ気品をたたえて集合されました。精華幼稚園は昔からちょっとハイソサエティでした。

2代目園長の海老原先生は私の先生



であり娘の時は園長先生でした。幼児教育の結晶のような優しさと自らを律する厳しさを体現されました。

鷹匠2丁目は「学園のある町」です。イギリスのオクスフォード、アメリカのボストンとまでは言わないが、日本でも成城学園、玉川学園など「学園のある町」は品が良い。私立精華女学校が明治36年、鷹匠町2丁目に開学してかれこれ120年、私たちの町は我が国でも稀有な歴史を持つ「学園のある町」ということになります。戦前の鷹匠町は文士や芸術家が多く住んでいたと聞いています。新しい時代をはつらつと生きる女学生には文化の高い良い環境だったことでしょう。

「学園のある町」の良さは、幼稚園、中学、高校の子どもたちが毎日町に来て元

気に成長する姿を目にすることです。しかも毎年新生が入れ替わるから、永遠に続く新陳代謝で常に若々しさを町に運んでくれます。入学試験の朝、緊張した顔を見るのも、満開の桜の下での入学式、横にいるお母さま方が年々自分より若くなっていることに気づかされるのも恒例行事です。

鷹匠2丁目は実に学生の多い町です。現在は大手の学習塾や専門学校もあり、また鷹匠の周辺にはいくつもの学校が立地し通学の学生たちが町を通ります。もともと和裁学校、洋裁学校、生け花教室、茶道教室などがあり、昔から若い人があふれている町だったのです。これからは学園と協力して、子どもたちを守る良い町をめざして行きたいものです。

### 精華の生徒たちの思い出

最初の東京オリンピックのころ、精華のバスケット部は全国的な強豪でした。市内の小学生で運動神経に自信があった女の子は精華のバスケット部にあこがれました。町の大人たちも自分のことのように喜んでいました。精華のバスケット部員だった友人は、この町に来ると練習帰りにこの店でジュースを買った、パンを買ったとなつかしく語ります。

私は公立中学に進みましたが、ある時、私の中学と精華学園中学の生徒会役員との交流会が行われました。精華の生徒会長さんは小柄ながらもビシバシと質問を重ね、こちらの男子の会長はタジタジでした。女子校ってやるなあ、家に帰って親に話したことを覚えています。

まだ共学になっていなかったころ、今の

校舎のところは運動場になっていて、ブロック塀の上に網状フェンスが張られていました。運動会の時は立ち入りを許されない男子高校生たちが何人も自転車の荷台に立ってフェンスにしがみついで中を見ていました。きっと好きな娘がいるのだろう、男の子たちの純情がかわいかった。精華の生徒たちは女子校ならではのおおらかさで、寒い冬は自転車をこぐときジャージのズボンにスカートの下にはいていました。町内のおばちゃんたちは「もうちょっと女の子らしくできないものか」とあきれられるばかり。

いつだったか、精華の通り(運動場のブロック塀が続き、高層マンションはまだなくて人通りが少なかった)に変質者が出ると水落交番から注意があり、おばちゃんたちは「女子高生がねらわれないように夕方学園のところをウロウロしようか」と話しました。しかし、おばちゃん軍団



を襲う痴漢が出るはずもなく、また愛する妻を危険にさらすわけにはいかないと夫たちに反対されて断ち切れになりました。

共学になって楽しいのは、野球部員たちが走る姿を目にすることです。「がんばって」と声をかけると「ウーッス」と太い声が返ってきます。いつの日か甲子園も夢じゃない。ほかの部活もユニフォームと持ち物で何部かわかるので見ていて楽しいです。この原稿を書いている今も派手なユニフォームのサッカー部の男子たちがリフティングをしながら駅に向かう通りを歩いています。みんながんばって。

SEIKA  
HISTORY

## 静岡精華学園の歴史をひもとく

創立六十二周年に思う — 本校の目標 —  
(1965年(昭和40年)校誌『精華』より)

杉原正六(元理事長)



昭和三十九年は世紀の祝典である東京オリンピックをはじめ、社会的にも国際的にも大きな出来事が多かった思い出深い年であったが、また、本校にとっても長い間待ちかねていた鉄筋五階建の本館が完成し、創立六十二周年の記念式典が行なわれた意義深い年でもあった。本校が今日の校運隆昌をもたらした陰には、いかに多くの先輩たちの尊い汗と涙がささげられてきたであろうか、今更ながら深い感動と感激をおぼえずにはいられない。

この六十二年の年月は、本校にとって明治、大正、昭和にわたる日本社会の激動期、激変期であり、しかもきびしい風雪に耐え、苦難の道を乗り越えてきた尊くも光栄にみちた歩みであった。われわれは今、本校のありし日をしのび、更に思いを将来にはせることは決して無意義のことではない。その経過については別に刊行する「精華沿革史」に記載されているが、ここで言いたいことは、こうした先人のたゆまざる足跡が「ローマは一日にして成らず」の教訓をことばどおりにわれわれに明示していることである。そして今日われわれの当面せる課題は、この六十二年間に培われたよき伝統をますます重視すると共に建学の精神を現代的に大きく発展させ「時代に即応する新しい女性」の育成をめざして日に日に新たに前進することである。

現在本校が第一に目標としていることは、女性の特性を助長し個性の伸長をはかることである。本校が創立以来女子のみの教育を行っていることは、女性の特質に着目し、女子のみの環境で教育することがもっとも効果的であると信ずるに外ならない。男女は同権ではあっても同質ではないということをはっきり認識し、女性は女性としての特質と天分を最大限に発揮することによってのみ社会の発展、人類の幸福のために貢献できることを銘記すべきである。

目標の第二は、一般教養を十分身につ

け、情操豊かな人間を育成することである。時代は刻々と進展しつつあり止むところを知らない。このような新しい時代に生きる女性は豊富な教養を身につけ、これを人生の諸々のことに生かす聡明さをもちたい。これからの家庭社会はこのような高い知性と豊かな情操をもった人々で構成されねばならないが、このための女性の役割はますます重くなるであろう。

最近十数年の科学技術の進歩はまことにめざましいものがあり、我々の生活様式も急速に変わりつつあるが、これを人間の真の幸福と進歩のために役立たせるか否かは一にかかって人間の心の中にあることを忘れてはならない。如何に学問があり知性が高くとも、道義心のうすい人間は百害あって一利もなき人に等しく、かえって好ましからざる人物といわねばならない。本校が知性の向上とともに、よい人柄の女性の育成に重点をおいているのもこのような理由によるものである。これが目標の第三である。

第四の目標は、体育を重んじ勤労を愛好する精神を養うことである。文化はすべてこれまで人類共通の産物である。戦後日本のめざましい復興と繁栄は世界の驚異のまどである。これはすべてわが国民の勤労の結果に外ならない。しかし環境が整い、生活が楽になってくると安易につき放縦に流れやすい傾向になり、これがまた不健全な風潮を生む原因ともなる。先人の「一日なさざれば一日食わず」の訓えはいつの時代にもわれわれに勤労の大切なことを示している。そしてこのためには健康の保持と体力の推進に心がけ、心身ともに働く意欲にみちた人間でありたい。

さて、創立六十二周年を迎えた本校がこれからどのように発展して行くであろうか。また、そのためにはどうしたらよいか、誰でも的確に示すことはむずかしい。しかしあえて誰もが考えられそうな夢を描いて

みよう。校舎もようやく第四期まで完成し、二年後に予定する第五期工事をやれば十年計画は一応終ることになる。しかし現在の施設やこれからの教育のことをつぶさに検討すれば不備不足のものが余りにも多い。たとえば講堂や体育館はもっと広くて別々のものが必要であるし、また生徒の生活訓練や合宿のための家庭寮も是非つくりたい。普通教室は一応よしとしても特別教室や研究室はどうであろうか、また、クラブの部室も不足だし、生徒ホールも早急にほしいものの一つである。更にもっと根本的な問題は校地や運動場である。今や千三百余名の生徒と五十数名の職員を擁する学校としては約三千五百坪の校地ではいかにも狭い。しかも校地は拡張する余地はなく、この解決には学校の移転を考えるより外ないであろうが、このことは金だけでは解決できない多くの問題を含んでいる。また、私学経営の理想からいえば幼稚園から大学に至る一貫した教育体系が望ましく、このためにも将来小学校と大学の設置も考えてよいのではないか。

こう考えてみると夢は次から次へつきないが、どれも容易ならぬ難問ばかりである。しかし困難や苦難は不可能なこととは違う。われわれの先輩は、もっともっと困難な問題を解決してきたのではないか。だからこそ本校の今日の発展があったことを思えば本校もこれから三十年、五十年の先を見越した構想がどうしても必要である。このためには今こそ本校の職員、生徒、PTA、同窓会、法人役員等の関係者の総力を結集し、その実現に向かって一步一步前進しようではないか。

### Profile

大正6(1917)年、創始者・杉原正市の初孫として生まれる。昭和25(1950)年、静岡精華学園理事長に就任した後、昭和61(1986)年に学園長となる。静岡県私学協会会長、日本私立中学高等学校連合会常任理事等を歴任。勲四等瑞宝章受章。平成19(2007)年逝去。

## 令和3(2021)年10月～令和4(2022)年3月 学校法人静岡精華学園年間行事予定表

10月	October	11月	November	12月	December	1月	January	2月	February	3月	March
1 金		1 月		1 水	学内企業施設 研究セミナー(大)	1 土	元旦	1 火	高校入試	1 火	卒業式(高)
2 土	運動会(幼)	2 火		2 木		2 日		2 水	高校入試 節分の集い(幼)	2 水	
3 日		3 水	文化の日	3 金		3 月		3 木	音楽あそび発表会(幼) 一般入試前期、地方入試(大)	3 木	ひなまつりの集い(幼)
4 月		4 木	造形参観(年少)(幼)	4 土	入試説明会(高)	4 火		4 金	一般入試前期、 スカラシップ選考(大)	4 金	誕生会(少・中)(幼)
5 火	満3歳児受付(幼)	5 金	造形参観(年中)(幼)	5 日		5 水		5 土	PTA/バレー バレーボール大会(中高)	5 土	
6 水	校内意見発表会(中)	6 土	入試説明会(中)	6 月	高2修学旅行	6 木	始業式、防災訓練(中高)	6 日		6 日	
7 木	校内意見発表会(高)	7 日		7 火	高2修学旅行 劇あそび(年少)(幼)	7 金		7 月	観劇会(幼)	7 月	
8 金		8 月	造形参観(年長)(幼)	8 水	高2修学旅行 劇あそび(年中)(幼)	8 土	中学入試(一次)	8 火		8 火	
9 土		9 火	講演会(中高)	9 木	高2修学旅行 劇あそび(年長)(幼)	9 日		9 水	歯みがき指導(幼)	9 水	誕生会(年長)(幼)
10 日		10 水	新入園児1日入園(幼)	10 金	誕生会(少・中)(幼)	10 月	成人の日	10 木	誕生会(年長)(幼)	10 木	
11 月		11 木		11 土	入試説明会(高)	11 火	始業式(幼)	11 金	建国記念の日	11 金	卒業式(大)
12 火		12 金		12 日	総合型選抜入試B(大)	12 水	全日保育開始、 誕生会(年長)(幼)	12 土		12 土	
13 水	秋の遠足、PTA/バザー(幼)	13 土	年長ナイト保育(幼)	13 月	あそびの日(幼)	13 木		13 日		13 日	
14 木	入園面接(幼)	14 日		14 火	誕生会(年長)(幼)	14 金	もちつき大会(幼)	14 月		14 月	
15 金		15 月	公開授業(中高) 教育面談～11/25(幼)	15 水	クリスマスの集い(幼)	15 土	大学入学共通テスト	15 火	誕生会(少・中)(幼)	15 火	半日保育、園内清掃(幼) 一般入試後期、学校推薦型入試(大)
16 土	入試説明会(中) 学校説明会(高)	16 火	公開授業(中高) 誕生会(年長)(幼)	16 木	避難訓練(幼)	16 日	大学入学共通テスト	16 水	お別れ遠足(幼)	16 水	卒園式(幼)
17 日	オープンキャンパス(大)	17 水	公開授業(中高) 誕生会(年長)(幼)	17 金	半日保育、終業式(幼)	17 月		17 木	マラソン大会(中高)	17 木	在園児のみ登園(幼)
18 月		18 木	公開授業(中高)	18 土		18 火		18 金	スターライトクラス体験会(中) 半日保育、修了式(幼)	18 金	卒業式(中) 半日保育、修了式(幼)
19 火		19 金	公開授業(中高) あそびの日(幼)	19 日	オープンキャンパス(大)	19 水	誕生会(少・中)(幼)	19 土		19 土	修了式、離任式(中高)
20 水	高原教室(中1.2) 誕生会(年長)(幼)	20 土	学校説明会・公開授業(高)	20 月	終業式、PTA寄せ植え 講座(中高)	20 木		20 日		20 日	
21 木	高原教室(中1.2)	21 日	学校推薦型入試(大)	21 火		21 金	新入園児保護者会 (半日保育)(幼)	21 月	一般入試中期、総合C、社会人 後期、編入後期、外国人入試(大)	21 月	春分の日 オープンキャンパス(大)
22 金	高原教室(中1.2) 誕生会(少・中)(幼)	22 月		22 水		22 土		22 火		22 火	
23 土		23 水	勤労感謝の日	23 木		23 日		23 水	天皇誕生日	23 水	
24 日	総合型選抜入試A、 内部推薦入試(大)	24 金	誕生会(少・中)(幼)	24 土		24 月		24 木		24 木	
25 月	あそびの日(幼)	25 土	新入園児保護者会(幼)	25 日		25 火		25 金	避難訓練(幼)	25 金	
26 火		26 日	避難訓練(幼)	26 月		26 水	あそびの日(幼)	26 土		26 土	
27 水		27 月		27 火		27 木		27 日		27 日	
28 木	体育祭(中高)	28 火		28 水		28 金	避難訓練(幼)	28 月	あそびの日(幼)	28 月	
29 金	避難訓練(幼) 開学記念日(大)	29 水		29 木		29 土	中学入試(二次)			29 火	
30 土		30 木		30 金		30 日				30 水	
31 日				31 月		31 火				31 木	

注：(幼)=幼稚園 (中)=中学校 (高)=高校 (大)=大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください

SEIKYAKUEN



## 静岡福祉大学

人間形成教育を基盤として、だれもが安心して暮らせるユニバーサルな福祉社会を構築し、さまざまな分野で地域の発展に貢献する人材の育成を目指しています。



## 静岡大成中学校

時代に適したスターライトクラスに加え土曜学習などといった主体性のあるプログラムを通じ本校ならではの意志のある教育を展開しています。



## 静岡大成高等学校

生徒一人ひとりの進路希望を大切に総合選択制。自分の進路希望に応じた選択科目を50科目以上から選択し、進路希望実現に向けて学習します。



## 静岡精華幼稚園

たくさんの遊びを通して経験・体験の幅を広げようとしている幼稚園です。経験・体験の豊富な蓄積は、子どもたちの学びと育ちの大事な土台です。